

事業名	緑の風景創造事業費			調査番号	68
細事業名	県有施設緑化事業費	財務コード	663002		
担当部課室	森林環境 部	みどり自然 課	緑化 担当 (内線)	6522	

I 事業の概要

実施期間	始期 H6 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	県(直営)	
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして
	県有公共施設	大型樹・郷土種の植栽を中心とした緑化モデル工事を行い、県が率先して緑被率を高める。
		結果、何に結びつけるのか
市街地の緑化率の向上を図るとともに、地域住民に緑化啓発を行い、緑豊かで快適な生活環境を創出する。		
内容	<p>○県有公共施設を対象に、大型樹・郷土種の植栽を中心とした緑化モデル工事を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に緑化工事要望調査を実施し、緑化工事予定施設を決定 ・平成29年度は、山梨県消防学校にて実施 (実施内容) 郷土種である高木(ヤマボウシ・イロハカエデ)や中低木(エゴノキ・アズキナシ・ソヨゴ)などを緑化園から移植し、利用者が憩いの空間として活用できるモデル的中庭を整備した。 	

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	実施設数	目標	1	1	1	1	1	1
		実績(見込)	1	1	1	1	1	1
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標	平成20年度を基準に5年間の上昇率から算出した緑被率	目標	11.2	11.3	11.4	11.5	11.6	11.8
		実績(見込)	11.1	11.1	11.3	11.7	11.7	11.8
		達成率	99.1	98.2	99.1	101.7	100.9	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
決算(予算) 単位:千円		3,074	3,218	3,122	3,229	3,040	3,240	3,300

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	県有施設においては、着実に緑被率が上昇するとともに、郷土種や大型樹を中心とした環境緑化整備を図ることにより、県民や事業者等に対して質の高い緑を提供している。さらに、他の模範となる環境緑化を率先して進め、県内の環境緑化を推進し、緑豊かで快適な生活環境の創出及び緑化意識の高揚に寄与している。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	徐々に成果が上がっている。また、民間事業所等からの環境緑化条例に対する問い合わせ等も増えており、成果向上の期待が持てる。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 (山梨県緑化計画により実施しているため。)		
その他	説明			
見直しの必要性	無	山梨県環境緑化条例において公共施設等の環境緑化が定められ、山梨県緑化計画により実施しているため。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。